

I 子育て準備期中・高校生、まもなく親になる方を対象にしたプログラム

I-3 ワーク・ライフ・バランスって？

対象：これから親になる世代20人程度
時間：70分程度

ねらい	ワークを通じて、ワーク・ライフ・バランスについて考えることで、男性を含めた働き方の見直し、固定的性別役割分担意識の解消や男性の家事・育児参加についての意識を高めていく。		
実施のポイント (評価など)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 働きながら子育てができるという両立できる環境を整備していくためには、女性の両立支援だけでなく、男性も含めた働き方の見直しが必要という考えを深めることができる。 ○ 誰もが働きながら子育てができる環境づくりを進めることの重要性に気付くことができる。 ○ 仕事は男性、育児・家事は女性がするものだという、性別役割分担意識が残っていないか確認することができる。 		
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ○ あらかじめ4～6人のグループに分かれておく。 (グループ編成は、参加対象を考えて編成し、仲のよい人ばかりで構成されないよう配慮する。) ○ 時計 ○ 筆記用具 		
時間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物
導入 10分	ワークの趣旨説明 ○アイスブレイク (自己紹介)	・自己紹介により互いに親近感がもてるようにする。	
展開 5分	ワーク1 ・エピソードを各自読む。 ・役割分担について自分の考えを「回答」に書き込む。	◎自分が役割分担についてどのような意識をもっているか気付くことをねらいとする。 ・グループごとに進行役、書記を決める。	
15分	ワーク2 ・進行役はテーマを読み上げる。 ・表をみて考えたことを、ワークシートに書き込む。 ・書き込んだ内容をもとに、グループ内で話し合う。	◎性別・年代別の考え方の違いに気付き、両立支援のため必要なことについて考えることをねらいとする。 ・書き込みが終わったら、進行役を中心に自由に話し合う。 ・特定の人ばかりが発言するのではなく、できる限り多くの人が発言できるよう進行役は留意する。	
20分	ワーク3 ・進行役はテーマを読み上げる。 ・グラフをみて考えたことをワークシートに書き込む。 ・書き込んだ内容をもとに、グループ内で話し合う。 ・グループの意見を発表する。	◎男性の家事・育児参加の重要性について気付くことをねらいとする。 ・書き込みが終わったら、進行役を中心に自由に話し合う。 ・出てきた主な意見は、書記がメモをとる。 ・グループごとに出てきた主な意見を分類し、発表する。 ・意見が同じような内容に偏ることが予想されるので、進行役は、できる限り多様な意見が出されるように参加者を促す。	メモ用紙
まとめ 20分	ふりかえり ・自分の考えをワークシートのワーク1の「ふりかえり後の回答」に書き込む。 ・グループで感想を話し合う。 ・感想を聞き、共有する。	◎ワーク2、ワーク3を振り返り、もう一度ワーク1をすることで、自分自身の意識の変化や高まりに気付くことをねらいとする。 ・ワーク・ライフ・バランス推進のためには、何が必要なのかをまとめる。	